

♪ 2023年度 **poco a poco** ♪

Nr. 17 2023年12月6日(水)

文責:プファイル・辰巳

## 2学期のミニコンサート週間がやってきました!

長らくお待たせいたしました。来週はいよいよ2学期のミニコンサート週間となりました。小学部5・6年生の部が12月11日(月)、中学生の部が12月14日(木)となります。関係学年の保護者の皆様には、先日プログラムを配信させていただきました。児童生徒のみなさんには印刷したものを配付しております。



寒い時期ではありますが、万障繰り合わせて、子どもたちの演奏を聴きにきていただけるとありがたいです。そして、温かい声援と拍手をよろしくお願いいたします。

小学部1~4年生の部は3学期に開催予定です。楽しみにしててくださいね。

### ミニコンサート 日程

5・6年生の部	:	12月11日(月)
		13時30分開演予定
中学生の部	:	12月14日(木)
		14時15分開演予定

### ミニコンサートの準備はOKですか?

練習やリハーサルは順調に進んでいますか。コンサートの間際は音楽室が込み合います。そのことを念頭に、練習やリハーサルの予定を立ててくださいね。音楽室は譲り合って使用しましょう。

## 音楽こぼれ話 <モーツァルトとフランクフルト>

フランクフルトと所縁のある作曲家の第2話はオーストリアのザルツブルグ出身のヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトです。「トルコ行進曲」に「Eine kleine Nachtmusik」、オペラ「魔的」、「ドンジョヴァンニ」、「フィガロの結婚」・・・みなさんにもなじみの深い曲をたくさん作曲しました。今風に言うならばステージパパであった父レオポルト・モーツァルトによって、ヴォルフガング少年は、幼いころからヨーロッパ中を旅し、行く先々でその天才ぶりを発揮しました。

そのモーツァルト少年が7歳の時、フランクフルトを父のレオポルトと共に初めて訪れたそうです。その時に宿泊した館は、現在シルン芸術館が建っている場所にあったそうです。建物はもうありませんが、ある遺物がフランクフルト歴史博物館に保管され、展示されているそうです。



それは1枚の窓ガラスで、何と父レオポルトのいたずら書きが残されているのです。ペンなどで書いたものではありません。なんと引っかき傷をつけるようにして、刻み込んだというのです。

では、何を刻み付けたのか。それは、そこに滞在した日付でした。「1763年8月12日」。不思議なことにドイツ語ではなく、フランス語で「8月」が刻みこまれているそうです。歴史博物館を訪問されたら、ぜひこの「モーツァルト親子の窓」を探してみてください。260年前の8月、モーツァルト父子がフランクフルトに確かに滞在したという証拠になっています。

## ちょっとだけ 演奏会情報

～ アルテオーパー 1月の演目より ～

1月18日(木) 大ホールにて

20時から リッカルド・ムーティ指揮のシカゴ交響楽団

ストラヴィンスキーの「火の鳥」 ブラームスの交響曲第2番 ほか

1月19日(金) 大ホールにて

20時から 同上 シカゴ交響楽団の演奏

メンデルスゾーンの交響曲「イタリア」 ほか

1月21日(日) モーツァルトホールにて

16時から ファミリーコンサート「モーツァルトのフィガロの結婚」より